

日時：9月29日（月）
13：30～15：40

会場：八王子労政会館ホール

参加者：5生協・80名

（コープみらい・パルシステム東京・東都生協
自然派くらぶ生協・八王子保健生協）

主催：東京都生協連

八王子生協交流会



開会あいさつ

東京都生協連
秋山部長

中核市にもなる八王子で安心してくらししていくために、私たち一人ひとりが考えて、行政だけに任せるのではなく生協でもできることを協力してすすめていきたい。



司会
コープみらい
飯塚裕子さん

八王子市内の生協が集まって話し合いを持ち、お互いの枠を超えて連携していくことを模索し始めて3年目、今年度も八王子で安心してくらししていくために、と題して学習会を開催しました。今回は関心の大きい介護保険の制度改定をテーマに、八王子保健生協より地域包括支援の視点からの基調報告と、八王子市より制度の概要と生協への期待をお話いただきました。その後リラックス体操をはさんで、各生協より地域の助け合いの取り組み報告を受け、助け合いや見守りで生協ができることを考えました。

◆◆ 基調報告 ◆◆



八王子保健生協
大久保専務

2025年度に向けて急速に増える高齢者の1/3は介護・医療が必要な人であり、医療・介護費の急増からその仕組みが見直され、「地域包括ケア」が重要となる。これは医療・介護や生活支援が切れ目なく提供される地域づくりであり、推進には「互助」がポイントとなる。この互助こそ生協の仕組みではないかと思われる。改定介護保険法にも初めて協同組合の名前が記された。

介護保険の改定により在宅医療の充実が求められ、一方で要支援者の利用の多い訪問や通所の介護保険給付がなくなり、「新しい総合事業」が始まる。これには住民主体の支援活動が含まれるがこれをどう捉えるかが課題となる。

八王子保健生協としては地域を一つの病棟として捉え、ひとり暮らしの高齢者が地域で生活していくためにその時々で必要なことが一元的に提供されることをめざしている。地域生協との協同もすすめ、そこから生活支援活動につなげていければと考えている。地域に住まう人たちが「③つうの④らしの①あわせ」を追究する一つのあり方が生協ではないかと確信している。

◆◆ 特別報告 ◆◆



八王子市福祉部
介護保険課
大澤課長補佐

今回の制度改正で、高齢者の多様な生活支援のニーズに応えるため、予防給付の訪問、通所介護について全国一律基準のサービスから、地域の実情に応じて市が効果的、効率的に実施できる「新しい総合事業」に移行する。これは地域支援事業として地域の多様な主体を活用して高齢者を支援することである。八王子としては2025年を見据えた介護保険事業計画を策定し地域支援事業の担い手（受け皿）の整備を進めたいと考えている。その担い手の一つとして協同組合が位置づけられている。八王子市では世帯比で約4割の生協組合員がいると聞き、「互助」の仕組みにつながる生協の持つ機能に期待している。



報告の合間に
体操でリラックス

* 生協の地域での取り組み報告 *

コープみらい
組合員が運営する高齢者サロン、サンテサロンの紹介。八王子保健生協とも連携している。組合員同士の助け合いの会、プチトマトの会の紹介。子育てサポーターも活動している。

アンケートから・まとめ

どの生協からも男女問わず万偏なく参加者があり広がりに関心の高さが伺えました。介護保険改定に関するお話も概ね理解でき、互助の意味や生協の必要性、助け合いの取り組みの意義などさまざま考える機会となったようでした。この会をきっかけにしてさらに地域での生協の役割と、できることの可能性を考えていきたいと思えます。

パルシステム東京
八王子市と見守り協定を結んだ。認知症養成講座から知症養成講座から紹介。組合員同士の助け合いの会。夕食宅配の紹介。配達時に見守りも実施している。

東都生協

ほっとはんだの活動を紙芝居で紹介。組合員同士の助け合いの会。夕食宅配の紹介。配達時に見守りも実施している。

八王子保健生協

生活支援活動研究会報告。日常生活上の困りごとを助けあいの活動で解決していく生活支援活動のネットワークを構築していきたい。